平成 24 年度　事業報告書

（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）

（1）ジェンダー問題に関する研究・調査

男女共同参画社会形成のための基本的な問題解決に資するため、当研究所主催の「プロジェクト研究」を立ち上げ「21 世紀におけるジェンダー研究の諸課題」という大テーマのもとに以下のような調査・研究を行った。

①　テーマの決定

「雇用労働と子育て」におけるジェンダー差別構造とその解体をめぐる研究

－養育の社会化をめぐって－

②　実施方法の決定

・研究期間は、平成 24 年度から 3 年間とすることとした。

・年度ごとに報告書を作成し、『ジェンダー研究』に公表することとし、最終的なまとめは、本研究終了時に、書籍として出版することとした。

③　平成 24 年度の研究会等

・プロジェクト研究に先立ち、「プロジェクトテーマ検討会」を 7 回開催した。

・プロジェクト研究会（6 回）と公開プロジェクト研究会（2 回）を開催した。

・『ジェンダー研究』第 15 号に「プロジェクト研究の実施」を掲載した。

・研究に参加するメンバーを集め、また共同研究参加者を公募した。

・研究をすすめるための事務体制を整備した。

（2）ジェンダー問題に関する研究への助成

① 個人研究助成

若手研究者を対象に、男女共同参画社会の形成に資する研究テーマを公募し、選考の上助成した。

・募集期間　　平成 24 年 5 月 1 日～5 月 31 日

・応募総数　　29 名

・審査委員会　第 1 次選考　平成 24 年 6 月 21 日　当研究所にて選考会議

　　第 2 次選考　平成 24 年 7 月 17 日　当研究所にて選考会議

　　第 3 次選考　平成 24 年 9 月 11 日　当研究所にて選考会議

・受託者（4 名）

＊　尹　ジン喜（ユン　ジンヒ）

（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科研究院研究員）

韓国における女性脱北者の生活世界と生存戦略

―女性脱北者のライフヒストリーに注目して

＊　柳原　恵（ヤナギワラ　メグミ）

（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ジェンダー学際研究専攻博士後期課程）

麗ら舎の<おなご>たち
―岩手におけるウーマンリブのライフヒストリー――

＊　坂井　博美（サカイ　ヒロミ）
（大妻女子大学　非常勤講師）
家事使用人の法的位置付けにみる戦後初期日本の労働・ジェンダー・家庭
―労働基準法制定過程の分析から

＊　清原　悠（キヨハラ　ユウ）
（東京大学大学院学際情報学府　博士課程）
女性たちのアイデンティティと戦後日本の住民運動
―ライフヒストリーと歴史社会学の視座から

・助成金額　計　１，２００，０００円

② 団体研究助成

ジェンダー問題に関する研究会を公募し、選考の上助成した。

・募集期間　　平成 24 年 5 月 1 日～5 月 31 日
・応募総数　　9 件
・審査委員会　第 1 次選考　平成 24 年 7 月 17 日　当研究所にて選考会議
　　第 2 次選考　平成 24 年 9 月 11 日　当研究所にて選考会議
・受託団体（4 団体）

＊　フェミニズム理論研究会
20 世紀初頭のラディカルフェミニズムとその周辺
―日米欧の比較研究―

＊　京都ＹＷＣＡ次世代サポート研究会
青少年を対象としたデートＤＶ予防教育プログラムの開発に関する一研究
―Power　Point によるハンディーラーニングプログラムの開発と効果について
Ｐart2―

＊　身体・性・生命・科学におけるジェンダー問題研究会（略称：BG 研究会）
ジェンダー論の現状と課題に関する学際的研究
―ジェンダー・バイアスのない身体・性・生命・暮らしをめざして―

＊　特定非営利活動法人　リソース・エンパワメント・ネットワーク REN 新たな経済社会潮流の中での男女共同参画センターの役割研究プロジェクト
新たな経済社会潮流のなかでの男女共同参画センターの役割についての検討

・助成金額　計　６００，０００円

（3）ジェンダー問題に関するシンポジウム、フォーラム等の開催

公益財団法人の設立記念及びジェンダー問題に対する理解・意識の普及や啓発のため講演会等を開催した。

①　設立記念講演会

・テーマ　　21 世紀のまちづくりとジェンダー
　　―ドロレス・ハイデンが提起するフェミニズム建築学
・講　師　　佐藤　俊郎氏（環境デザイン機構　代表取締役）
・日　時　　平成 24 年 11 月 11 日（日）13：20～16：45
・会　場　　名古屋都市センター　特別会議室
・後　援　　内閣府男女共同参画局
・参加費　　無料
・参加者　　72 名（定員 100 名）
＊　設立記念講演会終了後、第 1・第 2 会議室でティーパーティを開催した。

②　働く女性のカフェ

・第 8 回「働く女性のカフェ」
　テーマ：原爆をめぐる神話と真実―原爆と原発は同根の技術
　講　師：日野川　静枝氏（拓殖大学教授）
　日　時：平成 24 年 10 月 14 日（日）13：30～16：15
　会　場：名古屋都市センター　第 3・第 4 会議室
　参加費：無料
　参加者：44 名（定員 50 名）

・第 9 回「働く女性のカフェ」
　テーマ：経済成長は必要なのか？―私たちの求める社会とは
　講　師：安川　悦子氏（名古屋市立大学名誉教授、当研究所理事）
　日　時：平成 25 年 2 月 17 日（日）13：30～16：15
　会　場：東海ジェンダー研究所　セミナー室
　参加費：無料
　参加者：41 名（定員 30 名）
＊　この事業は、ワーキング・ウーマンとの共催で実施した。

③　個人助成受託者報告会

平成 23 年度の個人助成受託者が、研究成果を発表するための報告会を開催した。

・日　時　　平成 24 年 7 月 28 日（土）13：20～16：30
・会　場　　東海ジェンダー研究所　セミナー室
・報告者　　杉本　弘幸氏（京都工芸繊維大学・佛教大学・龍谷大学非常勤講師）
　　大木　直子氏（お茶の水女子大学リサーチフェロー）
　　橋本　嘉代氏（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ジェンダー学際研究専攻博士後期課程）
・参加費　　無料
・参加者　　22 名（定員 24 名）

④　賛助会員のつどい

賛助会員の交流を図り、幅広い分野におけるジェンダー問題への理解を深めるため公開して実施した。

・テーマ　　医療におけるジェンダー問題
　　～不育症（特に反復流産）の心理的苦痛とその支援をめぐって～
・講　師　　中野　有美氏（椙山女学園大学准教授）
・日　時　　平成 25 年 1 月 28 日（土）13：30～16：00
・会　場　　名古屋都市センター　大研修室
・参加費　　無料
・参加者　　29 名（定員 50 名）
＊賛助会員数　207 名（平成 24 年度末現在）

（4）年報及びニューズレターの発行（広報・出版活動）

① 年報『ジェンダー研究』第 15 号の発行

依頼論文・公募論文(史料紹介を含む)を掲載した。

また、当研究所のプロジェクト研究の実施概要、平成 23 年度の事業報告等も掲載した。

・論文応募期間　　平成 24 年 5 月 1 日～8 月 31 日
・論文応募総数　　11 名（一般 6 名、個人研究助成受託者 5 名）
・審査委員会

第 1 次選考	平成 24 年 10 月 12 日	当研究所にて選考会議
第 2 次選考	平成 24 年 10 月 19 日	当研究所にて選考会議
第 3 次選考	平成 24 年 12 月　7 日	当研究所にて選考会議

・発行月　　2 月
・発行部数　　670 部
・掲載内容

依頼論文	2 件
公募論文	4 件

② ニューズレター『LIBRA』第 45・46・47 号の発行

ジェンダー問題に関する識者の見解、当研究所の事業などを掲載した。

発行月　　7 月（45 号）・10 月（46 号）・3 月（47 号）
発行部数　　各 1,100 部

（5）他事業への助成

①寄附講座

・科目名　　「性とジェンダーと B」2012（共通教養科目）
・実施先　　和光大学現代人間学部
・期　間　　平成 24 年 9 月 15 日～平成 25 年 1 月 8 日　　8 回（隔週土曜日）
・受講生　　和光大学現代人間学部・表現学部・経済経営学部　各１－４年生
・参加者　　54 名（講座登録者）

②後援（日本スポーツとジェンダー学会　第 11 回大会）

・大会テーマ　　「開発におけるジェンダーとスポーツ」
・基調講演　　「開発と健康」　講師：原　ひろ子氏（城西国際大学客員教授）

・シンポジウム　　「開発におけるジェンダーとスポーツ」
甲斐田きよみ氏（元 JICA 派遣専門家、名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程）ほか 2 名
・日　時　　平成 24 年 7 月 7 日(土)～7 月 8 日(日)
・会　場　　学習院女子大学　2 号館
・主　催　　日本スポーツとジェンダー学会

③後援（日本学術会議公開シンポジウム）
・テーマ　　雇用崩壊とジェンダー
・報　告　　中野麻美氏（弁護士）ほか 3 名
・コメンテーター　　大沢真理氏（東京大学・学術会議会員）
浅倉むつ子氏（早稲田大学・学術会議会員）
・日　時　　平成 24 年 10 月 13 日（土）
・会　場　　日本学術会議講堂
・主　催　　日本学術会議・社会学委員会複合領域ジェンダー分科会

④後援（身体・性・生命・科学におけるジェンダー問題研究会講演会）
・テーマ　　『卵子提供』を考える－医療機関の調査を素材に
・講　師　　中塚　幹也氏（岡山大学医学部保健学研究科教授）
・会　場　　東海ジェンダー研究所　セミナー室
・主　催　　身体・性・生命・科学におけるジェンダー問題研究会

（6）　ジェンダー問題に関する資料・文献の収集と情報提供

次のような図書、資料を収集し、情報提供を行った。
・プロジェクト研究に関する図書・資料の収集　図書：133 冊　資料：80 点
・ジェンダー問題に関する図書の購入、寄贈　　26 冊
・関係諸機関からの研究情報ニュース、研究誌（年報など）の収集　　52 点

（7）その他当研究所の目的を達成するために必要な事業

①ジェンダー問題に関する研究会・研修等に用いるセミナー室の貸出
平成 24 年度利用登録　12 団体　　年間利用件数　98 件（平成 23 年度　71 件）

②ジェンダー問題に関する会議への出席
「名古屋市男女平等参画推進会議（イコールなごや）」への参加
平成 24 年 7 月 4 日、平成 24 年 10 月 22 日